

科目区分	専門教育科目	科目名	子どもと美術	科目コード	50106	担当者	昆正子
対象学生	幼児教育学科1年生	学期区分	通年	単位数	2	卒業要件	必修
						免許・資格要件	幼稚園免許選択必修 保育士資格選択必修
科目の主題						成績評価の方法と割合	
子どもの造形表現の理解と保育内容の研究						提出物〔作品・スケッチブック・レポート〕 (70%)	受講態度〔積極的な参加〕 (30%)
科目の到達目標						教育目標に基づく学修成果の到達目標	
						誠実な人柄と人間力(尽心)	高度な知性と創造力(創造)
1.	創造する喜びや楽しさを感じながら様々な造形活動を行うことができる					○	○
2.	幼児が造形表現を楽しむために必要な環境づくりや援助について理解する					○	○
3.	創造する喜びや楽しさを他者と共感し評価し合うことができる					○	○
4.	材料・用具・技法の扱い方を理解し、適切に用いることができる					○	○
授業方法							
保育者の資質として求められる造形表現の基礎技能について演習を行う。 保育現場での実践事例を紹介し、その活動の目的や意義を説明する。 学習した内容と作品は各自スケッチブックにまとめる。							
準備学修 (予習、復習等に必要な時間または具体的な学修内容)							
予習：教科書や前時に配布されるプリント等を熟読し、必要な用具や材料、計画などを準備してくる。 復習：授業での学習内容をまとめ整理する。							
授業計画							
第1回	幼児造形とは (フィンガーペインティング体験)			第16回	オリエンテーション(授業説明)、土粘土の準備		
第2回	空間の表現 (点と線を遊ぶ、明度・彩度・奥行き)			第17回	遊びを豊かにする造形教材について (1) 砂・土、粘土による造形表現		
第3回	色・形を楽しむ (色彩効果)			第18回	遊びを豊かにする造形教材について (2) 幼児の材料や技法の基礎理解		
第4回	色・形を楽しむ (モダンテクニックによる表現 色紙制作)			第19回	遊びを豊かにする造形教材について (3) 紙とハサミを使って切る・仕組みの理解①		
第5回	色・形を楽しむ (形の発見)			第20回	遊びを豊かにする造形教材について (4) 紙とハサミを使って切る・仕組みの理解②		
第6回	色・形を楽しむ (色紙の貼り絵)			第21回	身近な素材による立体作品制作 グループ制作 (1) 班分け、絵コンテづくり		
第7回	絵画制作 (下絵)			第22回	グループ制作 (2) 仕掛けの構想		
第8回	絵画制作 (着色①)			第23回	グループ制作 (3) 仕掛け・パーツの制作		
第9回	絵画制作 (着色②)			第24回	グループ制作 (4) 仕掛け・パーツの制作		
第10回	絵画制作 (着色③)			第25回	グループ制作 (5) 仕掛け・パーツの制作		
第11回	絵画制作 (仕上げ、完成)			第26回	グループ制作 (6) 仕掛け・パーツの制作		
第12回	グループ制作 (個人による素材カタログ制作+グループによる話し合い)			第27回	グループ制作 (7) 仕掛け・ページの貼り合わせ		
第13回	グループ制作 (役割分担・下絵・下塗り)			第28回	グループ制作 (8) 仕掛け・パーツの貼り合わせ		
第14回	グループ制作 (コラージュ)			第29回	グループ制作 (9) 製本		
第15回	グループ制作 (コラージュの完成・鑑賞)、まとめ			第30回	鑑賞・まとめ (造形表現の基礎的な技術・素材の理解、楽しさ・喜び)		
教科書・参考書				受講生へのメッセージ			
教科書：『幼児造形の研究 保育内容「造形表現」』 辻泰秀編著、萌文書林 参考書：『保育をひらく造形表現』 榎英子、萌文書林				制作の際には、汚れてもよい服装等、各自心がけること。 材料用具は個人負担であり、準備物は不可欠である。また、制作に必要な時間には個人差があり、作品完成のために時間外での制作を必要とする場合がある。			